



外観を建物の裏側から望む。正面の玄関ポーチの木格子と共に、バルコニーの木の手すり格子は日本家屋ならではのノスタルジックな印象を与え、外観のポイントになっている。

## 冬暖かく～夏涼しい家



### 静岡県・長田さんのお宅

延床面積・57坪

総工費・3700万円

設計・スローハンド(株)

開放的で自然素材をたっぷり使った、古いアメリカ映画に出てくるような家に憧れていたという長田さん。「肩肘張らずに環境問題に取り組みたい」という思いが、OMソーラーの家、そしてOMソーラーの家づくりをこよなく愛する杉本さんとの出会いにつながった。

実は、設計途中で杉本さんの会社が倒産してしまったのだが、どうしてもOMソーラーの家を実現したいという熱い思いが叶い、無事完成。その基になったのは、OMソーラーの家を五感で受け入れた障害を持つ娘さんへの思いやりだった。

長田邸は、天竜川の堤防沿いという立地条件を最大限に生かした、逆転プランの住まい。2階は大きな一体空間になっており、家族が集まるオリジナルのテーブルを囲んで、堤防の緑と空を眺めながら過ごすひとときは何もものにもかえがたいとのこと。バルコニーではプランコに乗ったり星空を眺めながら食事をしたりと、生活の楽しみも広がったようだ。

1階と2階は、中庭に面した大窓のある吹き抜けでつながる。中庭は、室内に十分な光と風を採り込む役割と、1・2階の外側を螺旋階段で結び、家の内・外をフレキシブルに行き来する役割も持つ。当面必要のない間仕切りは極力省くことで、「どこにいても家族の気配が感じられるように」という長田さんの要望も反映されている。

内装はシンプルな仕上げに、そして床や壁、天井には空気層が多くOMソーラーと相性のいいスギを多用。やわらかい材質なので手触りも

よく、調湿作用が高いため、湿気の多い季節も快適に過ごせる。床は傷が付きやすいが、長田邸ではそれを傷とかわず、「思い出」と呼び、家族の歴史にしているそうだ。「日焼けや人の脂によってずいぶんスギの色合いが変化してきましたが、10年後はどうなるのが楽しみです」とご主人。正面の庭や中庭の木々と共に家を変化していく姿を楽しめるのも、この家の大きな魅力だ。

右●建物の1・2階は吹き抜けの階段(右)でつながり、中庭とバルコニーはらせん状の外階段で連絡。家の内外を自在に行き来できるのも、長田邸の大きな魅力だ。左●2階の広いバルコニーではテーブルを置いて食事を楽しむ。

